

キャリアナビ
CAREER NAVI
MARCH 2020 VOL.19

文京学院大学 キャリアリーダー委員会

目次

はじめに	2	《活動の振り返り》	
《企業訪問》		・企画局	35
・F・LINE 株式会社	3	・渉外局	36
・鴻池運輸株式会社	6	《編集後記》	
・株式会社ニチイ学館	9	・顧問より	38
・日本電子計算株式会社	12	・委員長より	39
・株式会社ホテルグランドパレス	15	・表紙製作者より	40
《インターンシップ報告》			
・IV-JAPAN ラオス事務所	17		
・株式会社角川アスキー総合研究所	19		
《就職活動体験記》			
就職活動体験記①	21		
就職活動体験記②	23		
《委員会活動》			
・定例会	25		
・文京祭	26		
・～The B's Way ナイトカフェ～	29		
・キャリアてっぺんフォーラム	32		

はじめに

外国語学部 3 年 河野 萌香

○キャリアリーダー委員会について○

就職活動の情報やキャリア情報の収集を行い、学生が学内に向けて発信することを目的としている委員会です。

●主な活動内容●

《2 月・3 月》

学内就職イベント「業界研究セミナー」「OB・OG 就職相談会」「ジョブフェア」

《4 月》

新入生勧誘・顔合わせ

《5 月》

新入生歓迎会

企業訪問先にアポイント取り

《6 月・7 月》

企業訪問に向けた準備

《8 月・9 月》

企業訪問の実施

《10 月》

文京祭にて、模擬店の出店

《11 月・12 月》

ナイトカフェの開催

キャリアてっぺんフォーラムの開催

《1 月》

3 年生引退式

○キャリアナビについて○

キャリアリーダー委員会が、発信媒体として毎年年度末に学内向けに発行しています。新年度に新入生に配布したり、オープンキャンパスや文京祭、キャリアセンターでも配布したりしてる冊子です。1 年間の活動を通して学んだこと・得たことを、委員会の集大成としてまとめています。

F-LINE 株式会社

訪問日：2019 年 9 月 2 日

経営学部 1 年 吾田奏斗

会社概要

代表取締役社長：深山 隆

会社名：F-LINE 株式会社

所在地：〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目 3 番 5 号

創立：1952 年 10 月 2 日

資本金：24 億 8000 万円

従業員数：約 2550 名（2019 年 4 月現在）



事業内容

- 貨物自動車運送事業
- 貨物利用運送事業
- 倉庫業
- 通関業
- 港湾運送事業

経営ビジョン

- (1) 物流サイドから発荷主・着荷主、出資者など関連企業への企画・提案力の強化
- (2) 物流サービス構造の『見える化』推進により、サプライチェーン全体の効率向上の実現
- (3) 先端物流技術（A I や I o T など）の開発、活用
- (4) 持続可能なロジスティクスの構築
- (5) 働き方改革の推進と多様な人財登用

福利厚生

- 勤務時間

8：30～17：30（所定労働時間 8 時間/日）

- 休日・休暇

年間休日 110 日、年次有給休暇（入社 3 ヶ月後 10 日 最高 20 日）

産前産後休暇、育児休暇、育児短時間勤務制度、介護休暇、介護短時間勤務制度、結婚休暇、慶弔休暇、リフレッシュ休暇 等

- 福利厚生

各種社会保険、退職金制度、寮・社宅制度、各種保養施設法人契約 他

担当者様へインタビュー

人事部の秋元芳菜様、尾崎洋之様にお話を伺いました。

Q. この仕事をしていて一番のやりがいは何ですか？

A. さまざまな自然災害が発生し、食品が届きにくくなる中でも、その被災地に食品が届いて被災地の人に喜んでもらえたときは、とてもやりがいを感じました。

Q. 配属されてからの教育について教えてください。

A. 物流についての知識がなくても、新人研修や、先輩によるマンツーマン教育があり、丁寧な指導があり、安心して働くことができます。

Q. 海外に事業展開はしていますか？また、今後の展開について教えてください。

A. 海外の拠点として、タイとカンボジアがあります。しかし、F-LINE 株式会社は日本の整流化をめざしているので、今後の事業展開としては、国内の仕事に力を入れる予定です。

学生の皆さんへ

- ① いろいろな人と触れ合って、世界を広げてほしい。
- ② 4 年間有意義に時間を使ってほしい。
- ③ 自分がやりたいこと、興味があることをやってほしい。

企業訪問を終えて

F-LINE 株式会社様は、物流に関わる企業ですが、ただトラックで商品を運ぶだけではなく、食品や商品を扱う会社とやり取りをしたり、きちんと届くように手配する人がいて、色々な人が関わっていることが新たな発見でした。

また、会社の雰囲気がよく、上司の方々からの優しい指導があったり、しっかりとした福利厚生があるのも、安心して働くことができる環境だなと思いました。

直接お話いただける貴重な機会をいただくことができ、とても感謝しております。

秋元様、尾崎様、社員の皆様、お忙しい中インタビューを引き受けて下さり、ありがとうございました。



鴻池運輸株式会社

経営学部 1 年 砂永翼

訪問日 2019 年 9 月 3 日

今回私たちグループが訪問した企業は、鴻池運輸株式会社という企業です。
ここでは、私たちが訪問して分かったことを記述します。

■ 会社概要

- 会社設立

1945 年 5 月 30 日

- 本社所在地

東京都中央区銀座 6-10-1

- 代表者

鴻池忠彦

- 従業員数

約 25000 人

- 連結売上

2,941 億円



■ 事業内容

物流はもちろんのこと、3つの事業を核としたサービスを提供している。

- 国内物流事業

- 複合ソリューション事業

- 国際物流事業

の3つである。

■ 国内物流事業

〈ポイント!!〉ドライ倉庫や、冷凍、冷蔵庫を保有し、保管、流通加工を一貫している。

● 食品関連

食品流通センターを核とした、物流サービスの提供に加え、食品特性に応じた適切な温度管理で、保管、店舗配送業務を行っている。

● 生活関連

貨物の入出庫、保管、仕分け、店舗への配送に加え、様々な専用トラックによる配送、アパレル製品の検査、E C業務などを行っている。

■ 複合ソリューション事業

〈ポイント!!〉この事業は、鉄鋼、非鉄、金属、ガス、化学など各種業務請負を行っている。

● 鉄鋼関連

生産工程の請負や運搬、環境整備に、産業廃棄物の収集やリサイクル設備の設計や施工、保全にも携わっている。

● メディカル関連

院内の物流、滅菌の請負、医薬品の輸送にも携わっている。

● 生活関連

日用品などの物流事業に加え、設備の補修など、保全作業や、エコエネルギー関連業務を行っている。

■ 国際物流事業

〈ポイント!!〉海上貨物、航空貨物の倉庫業務に強み。

● 海外関連

世界各地、並びに国内物流事業を結び付けた、陸、海、空の国際複合一貫運輸を展開、エンジニアリング業務や、低温物流業務などの国内事業サービスも行う。

■ Q&A

企業訪問に行く前に私たちが疑問に思っていたことをまとめ、質問してきた内容について。

- 質問 1、鴻池運輸株式会社さんでは異動はありますか。

回答 7年間のうち、1回以上の異動があります。

理由としては、社員にいろいろな経験をしてもらい、どのようなことを行っているのか深く知ってもらうためです。

- 質問 2、一日のスケジュールの流れを教えてください。

回答 総合職は、毎日仕事の内容が異なるため、メールの確認や、内定式の準備、現場の安全の注意喚起に力を入れています。

- 質問 3、外国人は働いていますか。

回答 今年度は、新入社員のうち4名が外国人でした。

最近ではより多くの外国人が入社してくるようになり、皆さん高い日本語能力を持って入社してきます。

- 質問 4、どのような人材を求めていますか。

回答 私たちが求める人物像は、現場の声や業務の声などを聴ける人であり、これは最低条件であると考えています。

■ 最後に

以上が、鴻池運輸株式会社に訪問して分かったことです。

僕は企業訪問に行くことができなかったですが、実際に行った人のリアルな記録をもとに学ぶことも多かったと感じました。

株式会社ニチイ学館

訪問日：2019年8月20日

経営学部1年 菅家 彩加

○会社概要

- ◆ 代表取締役社長：森 信介
- ◆ 所在地：東京都千代田区神田駿河台2丁目9番地
- ◆ 創業：1968年12月
- ◆ 設立：1973年8月
- ◆ 資本金：119億3,300万円
- ◆ 社員数：35,745名
- ◆ 業務社員：60,247名（2019年3月期 年間の平均人員）
- ◆ 売上高：2,878億円（2019年3月期実績）



○事業内容

医療関係事業、介護事業、保育事業、ヘルスケア事業、教育事業、セラピー事業、グローバル事業

○福利厚生

- ・ 社会保険
- ・ 退職金制度
- ・ 従業員持株制度
- ・ 休業制度（育児休業、介護休業）
- ・ 当社直営保育園（認可外）の社員割引 etc.

○採用状況

- ・ 募集は総合職で250～300人を採用予定
- ・ 選考過程は①セミナー参加 ②一次選考（書類）③面接

○人材育成

- ・ 新人研修で同期の輪を作ることや、ニチイのルールの上台作りができる
- ・ 年次別研修：3年目まで年1回で行う
- ・ 配属先の先輩がついてくれて相談がしやすい

○求める人材像

1. 何事にも柔軟にできる人
2. あきらめない人
3. 主体的に考え行動する人
4. 積極的にコミュニケーションをとる人
5. チャレンジ精神がある人

○インタビュー

人事部の坂本美穂様にお話を伺いました。

Q. 社会人で大変なこと・やりがいは何ですか？

A. 大変だったことは、多くの仕事がある中で、優先順位を決めて取り掛かることです。仕事の計画をうまく組み立てられると、円滑に物事を進められるようになります。また、インターンシップなどで学生と会ったりすることが新鮮に感じたりします。どうしたら聞いてもらえるかを考え、実際に学生の前で話した時、楽しそうにしてもらえるとやりがいを感じます。

Q. 就職活動において努力したことは何ですか？

A. 私が就職活動中に努力したことは、あえて業界を絞らず、いろんな会社を見たことです。様々な会社を見たことで、新しい発見ができたり、視野を広げて業界研究することができました。インターンシップへの参加は、早ければ早いほど心にゆとりが持てます。たくさんの会社を見て損はないと思います。

Q. ニチイ学館の魅力とは何ですか？

A. 私が思うニチイ学館の魅力は、人として見てくれることです。つまり、「この人と働きたいと思うか。」を重視しているということです。また、縦と横のつながりがしっかりしていること、ダメなことはダメと規制をしっかり守ること、良い結果を出すと褒めて頂けること、などはニチイ学館の魅力だと感じます。ニチイ学館では、若手社員でも重大な仕事を任せてもらえることも特徴の一つです。

○文京生へのメッセージ

① 何事にも興味を持ち、挑戦する

興味がなければ、行動にも移せません。視野を広げ、いろんな場所に足を運ぶことは学生だからできることです。

② 実際に会う

ホームページ上で知れる情報はたくさんありますが、ぜひ画面越しだけでなく、その会社の人に会ってみてほしいです。

③ 楽しむときは楽しみ、やるときはやる

一年生は時間がある時に人脈を広げておくのも大切です。学生のうちに遊びを精一杯楽しむことも忘れないでください。

〇感想

今回の企業訪問を通して、ニチイ学館様は若いうちから仕事を任せてもらえ、きちんとした研修制度があるからこそ成長できる会社だと思いました。また、人事部の坂本様にお話を伺って、実際に自分の行動力を高めて、視野を広げてみようと思いました。



右奥人事部 坂本美穂様

日本電子計算株式会社

訪問日：2019年8月20日

外国語学部1年 河野誠

会社概要

会社名：日本電子計算株式会社

代表取締役社長：山田 英司

所在地：東京都千代田区九段南1丁目3番1号



創立：1962年12月3日

資本金：24億6千万円

従業員数：1,363名（2019年4月1日現在）

事業内容

・金融

「金融機関」の業務には、キャッシュカードやATMを使った「預金」や、住宅ローンをはじめとした「融資」だけでなく、国や企業が発行する債券の取引や投資信託の販売、融資を支える審査業務など、普段私たちの目には触れない様々な業務が行われている。

・証券

証券事業は、限られた市場を奪い合う競争の激しい業界であり、刻々とニーズが変化する中、「お客様満足度向上」「高品質のサービス提供」を考えながら、「FinTech」、「NISA」、「マイナンバー」等のホットな事象にも取り組んでいる。

・公共

転入・転出手続きや証明書の発行をスムーズにする住民基本台帳に関連するシステムをはじめ、地方税の賦課、徴収に関連するシステムや、介護・育児支援を行うシステム、図書館情報システムなどの提案・構築・運用を通して、安心して暮らせる社会を側面から支えている。

・産業

産業分野では、業種業態を問わず、幅広い業界に対してICTソリューションを提供しており、現在、[文教][年金][ERP][エンタープライズ]の各ドメイン（事業領域）に対しサービス提供している。たとえば文教ドメインでは、大学の取引先だけで約80校あり、インター

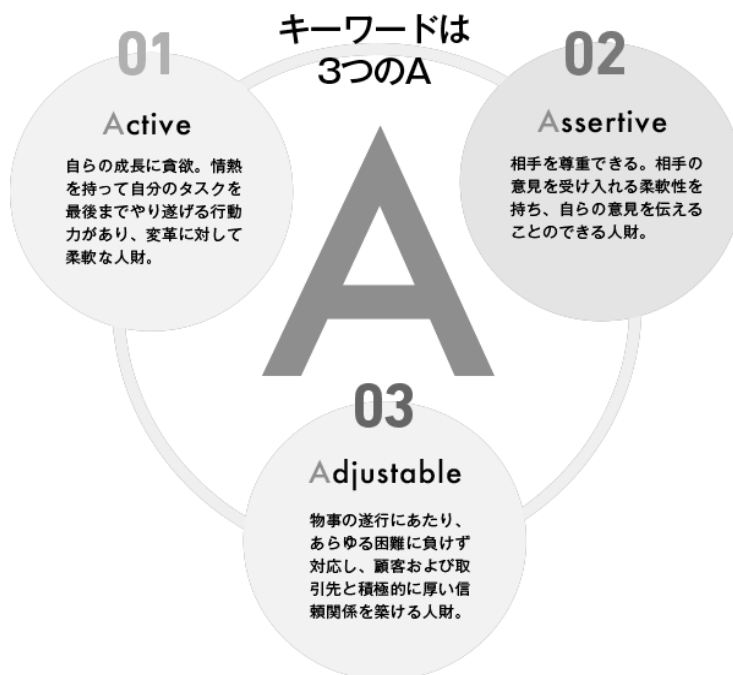
ネット出願クラウドサービス「SakSak 出願」等で着実に取引校を増やしている。

・ BPO

BPO は、業務プロセスをまるごと引き受けるサービスであり、マネジメント次第で提供できる価値や期待できる成果が大きく変わる分野である。IT を活用したビジネスモデルの構築や、標準化を進めて効率を高めること、またそれらを応用した他分野へのサービス範囲拡大など、多くのことに取り組んでいる。お客様の要望に応じて、それぞれの業務プロセスを請け負うだけに留まらず、業務プロセス全体の再設計やその提案、効果の分析なども対応している。

求める人材像

日本電子計算株式会社では将来の会社の基盤となり得る「IT のプロフェッショナルを目指し、個人および組織で活躍できる人財」を求めている。



福利厚生

・ 家賃補助手当

自宅から勤務先までが 1 時間半を超える卒業 5 年以内の独身者に対し、家賃の 75% を手当として支給される。

・ JIP サークル活動

様々なサークルが各拠点で活動しており、21 種ある NTT データグループのサークル活動にも参加することができる。

・ 時間単位年休

与えられた年次有給休暇を 1 時間単位で使用することができる。

・ 女性の育休復職率

過去 5 年間で 76 名の方が育児休業から復職し、働きやすい環境を整えている。

企業の方から学生の皆様へ

- ・委員会、ゼミ、部活動など何かに対して積極的に参加しましょう。就職面接の際に「ガクチカ」（学生時代一番力を入れて取り組んだこと）をよく聞かれるため、どんなことでも積極的にチャレンジすることが大切だと思います。
- ・何か行動するうえで、目標をひとつ立てましょう。目標を立てることで、そこから逆算すると今自分が何をすべきなのかが見えてくると思います。
- ・大学にあるキャリアセンターをフルに使いましょう。就職活動に対しての相談や不安なことがあったらすぐに相談しましょう。

感想

企業訪問をする前、私は日本電子計算株式会社を含むすべての IT 企業に対して真面目で堅苦しく、既に一定のスキルを身につけている人が就職するというイメージを持っており、事業内容がどのようなものなのか全く想像できませんでした。しかし、今回の企業訪問を通じて、日本電子計算株式会社ではパソコンなどに関する知識がなくても、新入社員研修や職場研修を経験することで、1 からそのスキルを身につけることが可能であると感じました。また、堅苦しいという印象は全くなく、アットホームな雰囲気がとても印象的でした。私は、自身の就職活動の際に、「堅苦しい」などの先入観で企業を見るのではなく、実際に企業を訪問することで新たな発見をしていこうと思いました。お忙しい中、今回の企業訪問にご協力していただいた日本電子株式会社の白崎様・白倉様ありがとうございました。



株式会社ホテルグランドパレス

訪問日：2019 年 8 月 22 日

経営学部 1 年 池田舜亮

◎会社概要

代表取締役：河野 博

開業：1972 年 2 月 20 日

資本金：25 億円（株主数 31 名）

社員数：250 名

所在地：東京都千代田区飯田橋一丁目 1 番 1 号

◎事業内容

・宿泊施設の運営

全 464 室 829 名収容【6 階～22 階】〈スイートルーム 4 室を含む〉

・レストランでの料理提供

① フランス料理【23 階】

② 鉄板焼

③ 懐石料理・寿司・天ぷら・すきやき・しゃぶしゃぶ【地下 1 階】

④ 中国料理（広東料理）【地下 1 階】

⑤ 軽食・喫茶

⑥ カクテルラウンジ【2 3 階】

以上 6 か所でお客様のニーズに合わせて料理の提供をしている。

・結婚式の準備

ウェディングチャペル【4 階】

神前式場、着付け室、美容室、写真室【5 階】

和風から洋風までの結婚式も取り扱っている。

・宴会場の貸し出し

大中小宴会場 全 20 か所【地下 1 階、2 階～4 階】更衣室のみ 6 階

結婚式の披露宴会場や企業の宴会場として貸し出し、サービスを提供している。

◎インタビュー

Q. 英語以外でよく必要になる言語

A. 中国人のお客様が増えているので中国語が必要になります。

Q. 従業員満足度を高めるには？

A. スポーツ大会、パーティー、会社で使える商品券を贈ります。

老舗である故に昔からの凝り固まった固定観念があるため、まずはそれを取り払ったうえであらゆる部門の従業員と意見交換を行います。

Q. 他のホテル業界と差をつけるべく行っていることは？

A. 歴史ある会社であることを生かし、古き良き伝統を残しながら新しきを取り入れ、お客様をおもてなししています。付随するレストランと自家製ケーキやスイーツにも力を入れています。

◎文京生へのメッセージ

社会人になると挑戦がしづらくなってしまうので、大学生のうちに遊びも勉強も色々なことに挑戦してください。

◎感想

この企業訪問で、普段は見ることのできない活躍しているホテルの姿を見るができました。また、選考方法や福利厚生など詳しく教えていただきました。実際に仕事の現場を見て、現場の方のお話を聞くことができる貴重な体験でした。



【訪問者】

相川日香里、鈴木優、栃木結花、
友田七瀬、立石理菜

IV-JAPAN ラオス事務所 インターンシップ



実習期間：2018年8月12日～9月2日

外国語学部4年 渡邊さつき

▼団体概要

認定/埼玉県指定 特定非営利活動法人国際協力 NGO IV-JAPAN(アイブイジャパン)

▽設立年月

国際協力ボランティアの会:1988年5月1日

(特活)国際協力 NGO・IV-JAPAN:2003年9月11日

▼代表者：富永幸子

IV-JAPANの始まりは1988年、IV-JAPANの前身である「国際ボランティアの会」を立ち上げたことに遡ります。アジアの開発途上国(ラオスやタイ、ネパールなど)で活動をしています。

▽ホームページ 『<https://iv-japan.wixsite.com/iv-japan>』



▼インターンシップ先：IV-JAPAN ラオス事務所

▽インターンシップ内容

実習期間3週間のうち、最初と最後の週はIV-JAPAN事務所において広報活動を行いました。IV-JAPANの活動をより多くの人に知っていただくため、ホームページやブログ、Facebookなどを活用しました。また、当時行われていた「木工事業における主任トレーナー育成プロジェクト」のサポートやそこで製作された家具に関するチラシ作成、最終週にある修了式に向けた動画の作成を行いました。中の一週間はOJT1と呼ばれる実践型の職業訓練校(縫製・調理・理美容部門)へ行き、英語のレッスンや各部門のメニューの改定、広報活動を行いました。また、広報活動をするにあたって各部門の体験もさせていただきました。

インターンシップ最終日は木工プロジェクトの修了式の会場設営・司会進行を行い、自身のインターンシップ報告会も行いました。



▽学んだこと・得たもの

私がこのインターシップに参加した理由は「国際協力に興味があり、プロジェクトが実際どのように行われているのかを見ること」、「自分が今までに培ってきた知識がどこまで通用するか力試しをすること」「行ったことのないラオスという国で自分の強みを活かし、役に立ちたいと思ったこと」の3つでした。実際にインターシップに参加して見てきたものは、研修生たちが少しでも多く知識を得ようと懸命に努力している姿でした。積極的に講師に声をかけたり機械に触れてみたりと懸命な様子が印象に残っています。それに対して日本人講師も期待に応えようとたくさんの資料をもって来たり、研修生と積極的にコミュニケーションをとるなど、教師と生徒というより友人のようでした。もう少し、お互いにどう思っているのかもっと深く知りたいと思い、今までに授業で学んだことを活かし5Sやアンケート調査、意識調査などを行いました。プライバシーも考慮しながら実施すると、プラスの意見もあればマイナスな意見もありました。表面だけじゃわからないことも知ることができ、今後のプロジェクトの参考になればと集計結果をデータ化するなどの取り組みを行いました。このように自分たちで考え、積極的に行動していると、最初は研修生から間を置かれていた私たちを受け入れてくれるようになりました。プロジェクトの様子も知ることができ、自分の知識を活用することにより相手が喜んでくださることに嬉しさを覚えました。また、私自身一眼レフカメラを持っており写真を撮ることが好きなので自分の趣味を仕事に活かせる嬉しさも知ることができました。

▼インターンシップに参加して

インターシップで大変なことも多くありましたが、もちろん楽しいこともたくさんあります。ラオスの文化に触れたり、研修生と交流したり、休日には観光しに出かけたりと本当に充実した3週間でした。今でも当時の研修生と連絡を取っており、研修の様子を写真で送ってくれたりします。これは本当に嬉しいことですし、こうした繋がり是一生の宝物です。インターシップを終えた今でもプライベートでラオスへ行き、観光やお世話になった方に会いに行ったりしています。日本でもラオスフェスが行われたりしているので是非とも訪れてほしいです。ラオスは本当に素敵な場所です。時の流れがゆったりとした、どこか懐かしさを感じる国です。日本でのインターンシップはいつでもできます。思い切って世界へ飛び出してみませんか。



株式会社角川アスキー総合研究所 インターンシップ

実施日：2019年8月20日～2019年8月30日

経営学部2年 安藤佳奈

* 会社概要と業界内での位置づけ

商号：株式会社角川アスキー総合研究所 KADOKAWA ASCII Research Laboratories, Inc.

設立：2000年2月

資本金：8500万円

代表者：代表取締役会長 福田 正

代表取締役社長 加瀬 典子

所在地：東京本社 東京都文京区西片1-17-8 KSビル2階

五番町オフィス 東京都千代田区五番町3-1 五番町グラントビル7階

大阪支社 大阪府大阪市西区江戸堀2丁目1-1

事業内容：イベント・セミナー・スクール、リサーチ、マーケティング、ソリューション、クリエイティブ制作（Web、印刷物）、システム開発、映像制作・配信、ソーシャルメディア広告、プロモーション、カスタマーオペレーション、出版、人材派遣など

* 実習内容

私は2週間の中で頂いたスケジュールに沿って、SNSの広告に関心の高いユーザーに届けるためのハンドルターゲティング、キーワードターゲティングなどを行うSNSチームやKADOKAWA出版している雑誌の編集方法を教わるアスキーチーム、YouTube事業を行っているYouTubeチームの3つに分かれてインターンシップを行いました。私は、YouTubeチームとして活動し、動画マーケティングや動画がもたらす影響、チャンネル運営のコンサルタント、SNS解析等を教わりました。最終日に各チームの活動報告、成果等をプレゼンテーションしました。以下が体験した事業内容です。



* 実習を通して学んだこと

1つ目に、「動画マーケティング」が今後、企業にとっては必要となってくる分野であるということを知れたことです。2つ目は、興味がある分野の知識を深めることができたことです。私は大学で映像制作を学んでおり、自作のアニメーションをYouTubeにてアップロードしています。しかし、インターンシップに行く前は、視聴回数を伸ばす方法などはあまり考えたことはなく、そのうち勝手に視聴回数は伸びていくのだろうと考えていました。YouTubeには、視聴回数を伸ばすために、上記で述べたアナリティクス分析をはじめ、人気チャンネルと関連したタグを付けたり、視聴者の心に響くような動画説明文が必要であると学びました。3つ目は、PCの基礎スキルが必要であることがわかりました。

実際にインターンシップを終えてみて、統計の知識の必要性和、資料作成やデータ解析のためのスキルは、必ず社会に出たら重要になると感じました。

* 感想

今回のインターンシップに参加し、自分が行っていることに直結したことを学び、自分が知らなかったこと、実際にYouTube立ち上げに参加した方からお話を聞くことができ、YouTubeの奥深さを知ることができました。YouTubeには、視聴回数を伸ばすために、上記で述べたアナリティクス分析をはじめ、人気チャンネルと関連したタグを付けたりと視聴者の心に響くような動画説明文が必要であると学び、YouTubeを使用している私にとって、これらのことは大変貴重な経験となりました。また、事業内容の他に、将来のことや今後の就職活動のことなど、多くのことを教えていただきました。今後はこれらの経験を活かし、学生生活はもちろん、これから始まる就職活動に向けて頑張っていきたいと思います。

就職活動体験記①

2020年1月29日

経営学部4年 秋林奈緒

【内定先】 金融業界（信用金庫） 総合職

【就職活動への取り組み】

私が就職活動を始めたのは大学3年の3月1日、就職活動解禁とともに重い腰を上げました。大学2年生ではフィールドワークに参加し精力的に活動を行い、ゼミナール活動も取り組んでいたために、どうしても就職活動への切り替えが出来ませんでした。早いとは言えないタイミングでしたが、就活解禁を機に、就活にギアを入れました。短期集中型であったとは思いますが、スケジュールや自分のペース配分を考えながら就活を行うことで結果につながったのだろーと思います。色んな人から情報やアドバイスを貰うことで、就活というものに自信のなかった私も円滑に取り組むことが出来ました。

【就職活動の流れ】

●3月 ①マイナビ主催の合説¹に参加

②学校主催の合説に参加

③見よう見まねでエントリーシートを書く

④自己分析や企業研究をする

⑤新卒ハローワークで相談

この時点で業種や職種は絞らず、就職活動というものを理解していく段階でした。

●4月 ①機械メーカーや公社など、企業理念や活動に共感する会社にエントリーし、面接

②エントリーシートが通らない時期

③このころから「就職活動の軸」が定まる

④就職活動だけに力を入れるとバランスが取れなくなってくることがわかる。（就活→アルバイト→ESなどの書類を書く）エントリーシートが全く通らない時期もありましたが、ハローワークの方やキャリアセンターの職員さんにアドバイスを頂きながらこなしていきました。「この時期はみんなエントリーシートが通らなくて悩む時期だ」とお世話になっていた職員さんから言われ、気持ちが楽になりました。就職活動は周囲を気にするのではなく己と向き合うことが大切です。

●5月 ①就職活動が生活の一部になり、うまくスケジュールを組めるようになる

②面接で今まで出会ったことのないほど多くの社会人と接し、選考自体を楽しみながら取り組めるようになる ③1つ目の内定が出る

¹ 合同説明会…企業が一堂に会する企業説明会

- 6月 ①大手企業、行政に近い公社などの民間団体の選考が始まる
②最終選考のため大阪まで行く ③いくつか内定をもらい、最後の一社と決めていた
会社の選考を受ける
- 7月 ①頂いた内定の中で納得した金融機関に内定承諾をする。

【就活のアドバイス】

① 時間を守る

当たり前のことですが、ここをおろそかにする同じ就活生をたくさん見てきました。どんなに綺麗なスーツを着ていても、良い大学でも、印象は良くないです。

② 就活は一人で戦わない

キャリアセンター、エージェント、ハローワークなど、プロの意見を聞くことで見えてくることもあります。私は行き詰るとアドバイスを貰っては素早く現状を打破していました。

③ 学内イベントへ参加する

私は大規模な合同説明会での収穫はあまりなく、行ったことで満足してしまいそうになりました。その反面、学内説明会は本学の学生の採用に前向きである企業が多いことや、規模がちょうどいいので企業探しには持ってこいのイベントです。

④ 自己分析や業界研究は早めに

私は就活にまつわるすべてのことを3年の3月から始めましたが、自己分析や業界研究はもっと早めにはじめていても良かったと感じます。実際の選考などは就活を本格的に始めなければ分かりませんが、自己分析や業界研究は学年問わず空いた時間に積極的に調べてみるといいと思います。そこからまたインターンや企業選びにも大きく影響を与えてくれるはずです。

⑤ 情報の取捨選択をする

検索エンジンで就活に関するキーワードを調べても、莫大な情報が出てきます。ああすべき、こうすべき、これはしてはならない…など見れば見るほど何が正しいのかわからなくなり、疲弊してきます。色んな情報を得られて便利ですが、鵜呑みにし過ぎず情報の取捨選択はきちんと行ったほうが良いと思います。

【最後に】

私は「就活の軸」を早い段階で定めたことで言葉にも文章にも説得力が増し、面接官の質問にも難なく答えられるようになりました。何も考えず就活をするのではなく、何よりも先に自分と向き合うことが大切だと感じています。そして私個人の意見ですが、面接官は就活生の特段高い能力を求めているわけではないと思っています。私たちの今までの人生で培ったすべての人間力を求められているのかなと感じました。就活のゴールは内定をゲットすることではないはずです。就職した後の自分の人生が豊かになるよう、就活を有利にするためだけのアクションを起こすのではなく、その時々で自分がやりたいこと、挑戦したいことに向き合ってみるのも大切なのではないかと思います。最初は慣れない就活に苦労することもあるかと思います。が、真摯に向き合えば必ず良い結果が付いてくるはずです。心身を大切にしながら、就活という貴重な機会を前向きに取り組んでください。

就職活動体験記②

経営学部4年 中尾 雅人

【内定先】

東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）

鉄道運輸・ITを中心に交通インフラを支えている旅客鉄道会社

【就職活動の流れ】

自分の就職活動は2月から始まり、東日本旅客鉄道株式会社に内定をもらう8月までの約半年活動していました。月ごとに簡単にまとめます。

〈2月〉 就職活動スタート。

マイナビやリクナビのアプリを利用し、自分自身の自己分析

自分の行きたい企業の絞り込み

（ただ、あんまりにもぼんやりとしか準備をしなかったため後々後悔することに）

〈3月〉 1日に全国で就職活動解禁

合同説明会に参加。感触の良かった企業の個別説明会や選考も受け始める。

その中から3月終わりに1社から内定。

〈4月〉 サービス業に狙いを絞りつつ、複数社の選考を受け始める。

ただ、エントリーシート（ES）や履歴書などの書き方等に苦戦し、何社かはエントリーを諦めることに…

その結果、GW前に第1志望の企業から不採用通知を頂く。

〈5月〉 GW明けすぐにもう1社から内定を頂く。しかし、自分としては納得できず、業界の絞り込みや自己分析をやり直すために1か月ほど休養（アルバイトや遊び等）することに。

〈6月〉 中旬ごろに活動を再開させ、好きなことでもあった鉄道業界に狙いを絞り、キャリアアセンターでESの書き方や心持ちなどのアドバイスを受け挑んだが、早々に1社から不採用になる。

〈7月〉 初旬頃にJR東日本のエントリーシートを提出し通過。選考を受け、8月中旬ごろに内定を頂くことに。他の企業も自分が興味のある分野であったため迷ったが、8月中に内定承諾の連絡をして無事就職活動終了！

簡単にまとめると2・3月において自分自身でできる就職活動の準備をし、3・4月から選考や結果が出始めてくるといった流れになります。ただ、スムーズに5月や6月に就活を終える人もいますし、自分のように納得のいかない人や中々選考がうまくいかない人などもいるため、あくまでも自分が今紹介したものは1例としてご参考にしていただければと思います。

【就職活動を通しての反省点】

① 明らかな準備不足

自分は就職活動を2月から始めましたが、自分にとっては遅かったなと感じます。やはりESや履歴書の書き方に準備不足が表れてしまったからです。今までやってきたことに対しては自信がありましたが、文章にして説明することはかなり大変です。さらに文字数などのいろいろな制約のある中で書くことになるのでさらに難易度は上がります。そのためにしっかり書きたい内容を自分自身でもある程度まとめて、実際書くときにはキャリアセンター等を利用し仕上げていただくことをお勧めします。

② 自分自身の管理

これは様々な面でのことになります。自分としては体調管理とスケジュール管理に對してです。やはり、自分が大学卒業後に1番最初に働く企業になるため、いろんなプレッシャーや選考中は緊張する場面が多くあり精神的にも肉体的にも疲労がたまりやすいです。自分としては3月中にたくさんスケジュールを埋めてしまい、風邪を2回も引くなど体調を崩しがちになりました。たくさんの企業を受けることは間違っていないし、いろんな勉強や場慣れにもなるのでいいと思います。しかし、まずは自分の体があつての就職活動です。自分の無理のない活動範囲を知っておくのも大切な就職活動の準備であると言えます。

【これから就職活動を控える皆さんへ】

就職活動は学生生活における集大成とともに社会人としてのスタートと感じています。みなさんが今までにどのような活動をしてきたのか、どんな人間になっているのか、自分という人間を盛んにアピールする場であると就職活動を終えてそう思います。そのためにしっかりと準備すること、自分という人間を見つめなおすこと。これを怠らずに就職活動に挑んでほしいと思います。そしてなにより大切なのは就職活動というのは「個人戦」ではなく「団体戦」であるということ。就職活動をしている間は不安やプレッシャーから疲れがたまったり精神的に不安定になったりします。そんなときに1人でため込まず周りの人に相談や愚痴などをこぼしましょう！これが自分の励みに必ずなります。みなさんの就職活動が納得して終了できることを心から祈っております！頑張ってください！！

定例会

実施日：毎週金曜日（昼休み）

経営学部2年 松谷健介・小林辰之介

私たちキャリアリーダー委員会は、毎週金曜日の昼休みに定例会を行っています。そこで1年間の定例会での活動内容を詳しくご紹介します。

2019年度

<前期>

新1年生33名、新2年生10名が入り、3年生を合わせた57名で活動しています。

毎週、企画局・渉外局に分かれて定例会を行いました。企画局では、文京祭に向けての話し合いをしました。渉外局では、夏休み中に行われる企業訪問のアポイントをとるためのメールの送り方の説明や、実際に企業訪問に伺う企業にメールを送ることなどを行いました。

6・7月の定例会内では1年間の活動の中で一大イベントである企業訪問の準備を行いました。また、企業訪問の当日に企業の方にお会いする際の名刺交換を含めたビジネスマナーを定例会内で学びました。早い段階でビジネスマナーを学べたため今後の活動にも活かせると思います。

<後期>

夏休み中に訪問した企業への取材内容を発信するため、ナイトカフェにて発表・展示するパワーポイントや模造紙の準備に力を入れました。訪問企業ごとに役割を分担しながら一生懸命取り組みました。

ナイトカフェの準備をしている一方で、キャリアてっぺんフォーラムの準備を1、2年生中心に実施し、3年生やてっぺんフォーラム委員の方にご協力いただき、運営を行いました。



文京祭

実施日：10月19日・20日

外国語学部3年 島崎里菜

今年度の文京祭では、キャリアリーダー委員会として初めて模擬店の出店を行いました。2日間で26人の委員学生が販売担当として参加しました。

◆文京祭とは◆

文京学院大学で10月の第3週の土日に毎年行われているイベントです。今年度は10月19日（土）・20日（日）に行われました。

今年は55回目の開催になります。今年のテーマは「Next Stage」でした。

小さいお子様から高校生、卒業生や近所の方々まで、幅広い年代の方々が来校されました。



◆キャリアリーダー委員会の挑戦◆

昨年までの文京祭は、夏の企業訪問の発表を行っていました。しかし、反省点として「来客数が少ない」、「委員会の知名度が低い」などの意見が上がりました。そのため今年度は、キャリアリーダー委員会として初めて文京祭で模擬店を出店することを決めました。

<模擬店内容>

模擬店：メロンパンアイス

価格：定価 150円
(時間帯などにより価格変動あり)

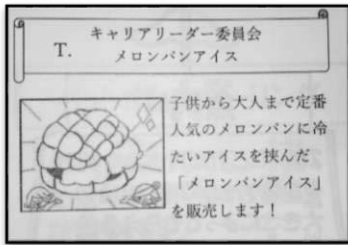
場所：B's Dining 1階



◆準備◆

5月中旬から文京祭の出店内容案を考え始めました。6月には第1回目の模擬店出店に関する説明会がありました。そして、規約に沿って材料や器具などを決め始めました。夏休み前には、文京祭のパフレットに載せるイラストなども作成しました。夏休み明けからは本格的にポスターの作成や、検体検査などがありました。

前日準備では、看板の作成を中心に準備を行いました。



◆文京祭 2日間◆

1日目には、想像以上にアイスクリームが溶けるのが早く、途中でアイスクリームが足りなくなってしまうハプニングがありました。

2日目には、委員からの案で、校内を回って販売も行いました。

2日間とも無事にメロンパンアイスを完売することが出来ました！！



◆2日間を通しての反省点◆

今回の反省点は、2つあります。1つ目は人が足りない時間、余っている時間などシフトが上手く作れず、ずっと固定でシフトに入っている人がいたことです。2つ目は、メロンパンアイスの作り方がきちんと共有できていなかったことです。そのため、当初の予定の量や予算内で収めることができませんでした。

◆文京祭反省会兼打ち上げ◆

文京祭の反省会を12/6(金)にC館11階にあるSalon・de・Bunkyoにて行いました。参加者は、14人でした。みんなでピザなどを食べて楽しく過ごしました。



◆成果◆ (2019年10月22日現在で確定しているもののみ記載)

10月19日(土)

販売時間：10：30～16：00

販売個数：225個

売上金：※150(円)×225(個)＝35,050(円)

※時間やオプションなどで価格変動の時間あり



10月20日(日)

販売時間：10：30～15：00

販売個数：227個

売上金：※150(円)×227(個)＝37,850(円)

※時間やオプションなどで価格変動の時間あり



2日間の売上金額(単位：円)

35,050(19日分)＋37,850(20日分)＝72,900(円)

最終的に、キャリアリーダー委員会が売り上げた金額は72,900円になりました。



◆感想◆

アンケート結果から

- 1、予想よりも備品が早く無くなっていたので、多めに用意した方が良い
 - 2、完売して良かった！！
 - 3、値段が丁度良かった
 - 4、初めてにしては上手くいったと思う。回数を重ねればよりスムーズに出来そう。
- などの意見がありました。

◆最後に◆

文京祭で模擬店を出店することは初めてのことで、不安も大きく、多くの方にご協力・ご支援をいただきながら無事に終わることが出来ました。模擬店案を出すところから準備、販売、会計と各方面においてご協力くださった関係者の皆様、キャリアセンターの職員の皆様心から感謝申し上げます。そして何より、文京祭当日手伝ってくれたキャリアリーダー委員会のメンバーの皆さん本当にありがとうございました。

The B's Way ナイトカフェ

実施日：2019年11月6日

経営学部1年 本堂聖空

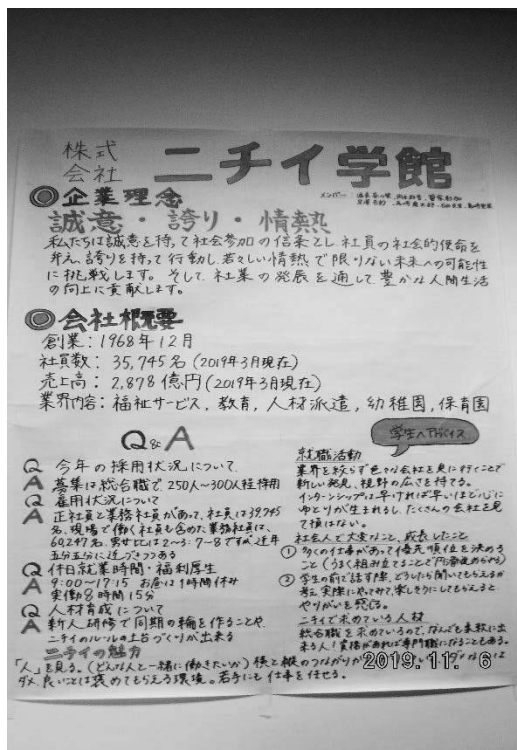
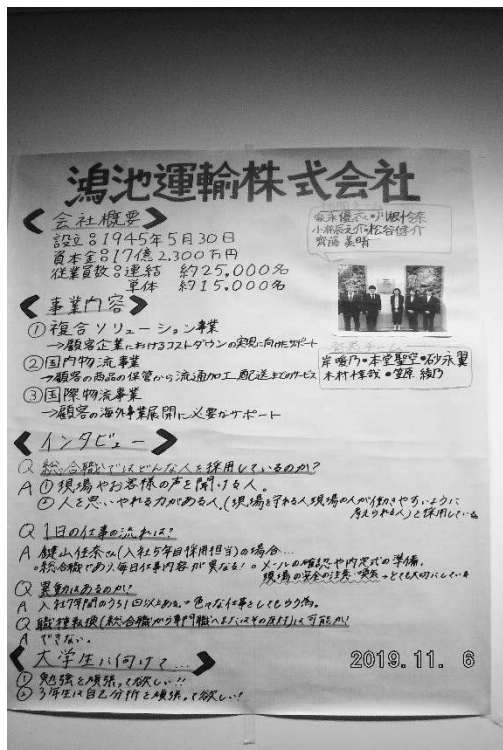
◇The B's way ナイトカフェとは？◇

「授業後や仕事後に気軽に立ち寄り、多彩なキャリアについて語り合うカフェ」をコンセプトとして、学生と社会人の双方から学べる交流会です。今回はキャリアリーダー委員会が主催。委員会活動の企業訪問報告発表後、後半では社会人と学生を交えたグループワークを実施しました。

◇ナイトカフェ本番に向けての準備◇

夏に企業訪問した内容をパワーポイントにて作成しました。発表は一人ではなくグループで役割分担を決めて行うため、とても時間が掛かりました。発表練習の際も1年生、2年生、3年生と集まる時間が取れず、放課後や授業の空き時間を利用して取り組みました。練習を行いながらパワーポイントの修正を重ね、聞き手が理解しやすいような発表ができるように工夫しました。

また、企業訪問にいった際の活動内容をよりわかりやすくまとめたポスターを作成しました。



◇ナイトカフェ本番◇

当日は授業が終わり次第、会場準備に取り掛かりました。

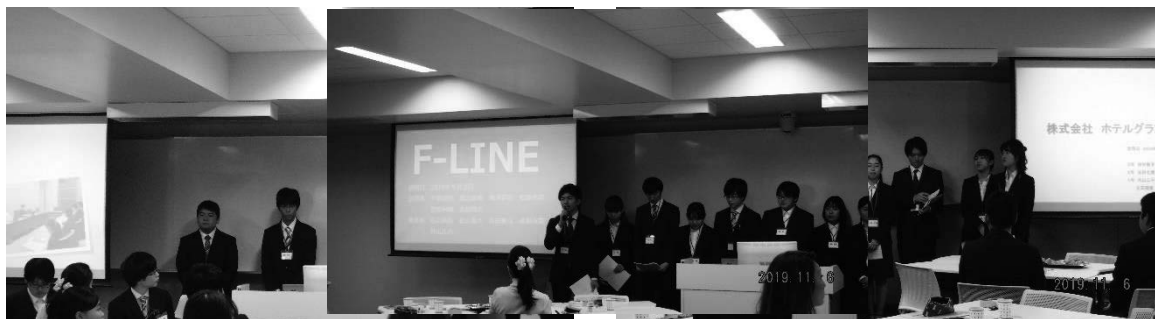
初めはイントロダクションを行い、OB や OG, 企業の方々との親睦を深めました。緊張した空気が和んでとても話しやすくなりました。

企業訪問発表では、私は企業の方がいらっしゃる中で緊張しましたが、とても好評だったので良かったです。ほかの会社もスムーズに発表を進められていました。

〈発表したグループ〉

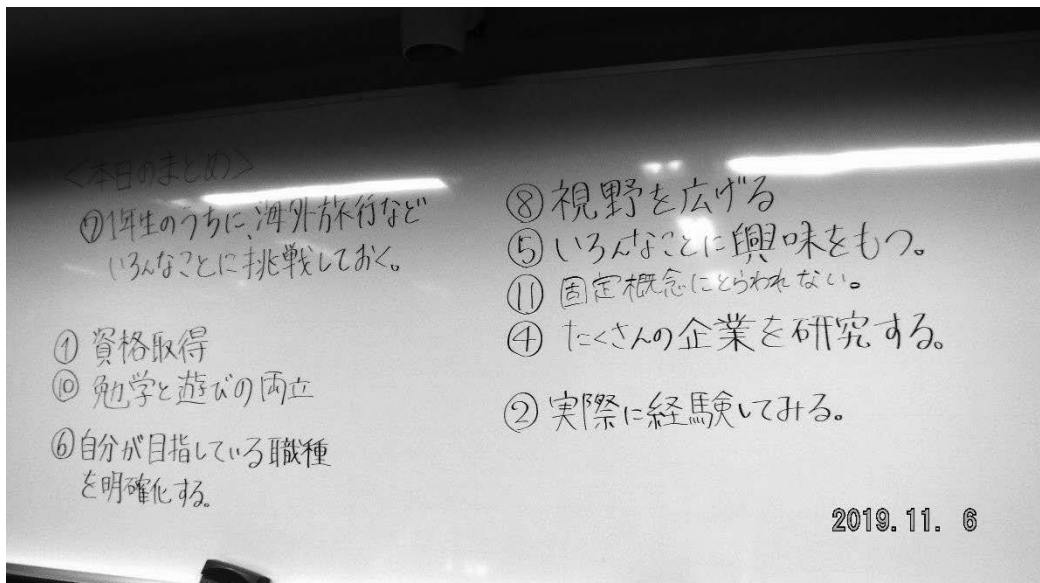
- ・ 鴻池運輸株式会社
- ・ 株式会社ホテルグランドパレス
- ・ 株式会社ニチイ学館
- ・ 日本電子計算株式会社
- ・ F-LINE 株式会社

セッションタイムでは、私は鴻池運輸株式会社さんと同じグループになり、その方は採用担当をされていました。就職活動のことや、将来の話などを伺うことができました。



◇感想◇

今回のナイトカフェで企業の方々とたくさん会話ができて、将来の自分の進路をについてよく考えることができました。私は企業訪問には行くことができなかったため、その分とても充実した時間を過ごせました。企業様を招いてのナイトカフェは初めての取り組みだったので成功できるのか心配でしたが、発表準備や企業訪問をしっかりと行うことができたことで、OB や OG、企業の方々にもとても喜んでもらえて良かったです。また、今回は2年生、3年生が中心に準備などを行っていたので次は1年生も、もっと積極的に取り組んでいければよいと思います。私も来年も機会があれば活動に貢献していきたいです。今回のナイトカフェで就職というのを身近に感じるととても良い機会になりました。この経験を、3年後の就職活動に向けて活かしていきたいです。



ナイトカフェ グループごとのまとめ

キャリアてっぺんフォーラム

実施日：2019年 11月 27日

外国語学部2年 豊嶋 利緒

1. キャリアてっぺんフォーラムとは？

キャリアリーダー委員会とてっぺんフォーラム委員会が合同で準備と当日の運営を行う、毎年後期に開催されるイベントです。参加者の対象は本学の1年生から3年生です。

就活を終えた4年生の先輩を4名ゲストスピーカーとしてお招きし、自身の就活スケジュールや準備しておくべきこと、面接の際に印象に残ったエピソードなど、実際に就活を経験した先輩だからこそ話せる就活の実情を語ってくださいます。毎年、お話してくださる先輩方の内定先は様々なので、色々な分野のお話を聞くことができます。

2. それぞれの委員会の紹介

キャリアリーダー委員会

本学の学生が、実際に企業に訪問し取材を行うことによって企業や就職先に関する情報を入手し、他の学生に発信していく委員会です。主な活動は夏の企業訪問、ナイトカフェでの発表やキャリアナビの作成、学内で行われる企業の合同説明会の運営などです。今年はこれらの活動に加え文京祭で模擬店を出店し、メロンパンアイスの販売を行いました。

基本的なビジネスマナーやメールの書き方、スーツの着こなし方や身だしなみなどで注意する点などを学ぶことができるので、これからの就活に役立てることができます。毎週金曜日に定例会を実施しています。

てっぺんフォーラム委員会

前期は、大学生活を頑張る人を応援するためのイベントである「てっぺんフォーラム」を運営します。「てっぺんフォーラム」は、上記にあるキャリアてっぺんフォーラムとは少し内容が異なり、本学で今輝いている学生を選抜し、後輩に新たな「気づき」を促す発表会となっています。学力だけでなく、その他のスキルや様々な分野で活躍している学生を「てっぺん賞」と「スイッチオン賞」の2つの賞で表彰します。

3. 本番までの流れ

まずは全体を企画部と広報部に分け、さらに各部会の部会長を決めます。委員長と副委員長、部会長は週に1回幹部会を開き、キャリアセンターの方々と一緒に本番までの企画、運営を話し合います。決まった内容を定例会でメンバーに共有し、各自の役割に関する準備を進めていきます。

4. 各部会の主な活動内容

企画部会

- ・ 発表してくださる先輩の決定
- ・ 当日の役割分担（司会や照明など）
- ・ リハーサルと当日のシフトの作成
- ・ 慰労会の企画、準備、運営

広報部会

- ・ ポスター作成
- ・ パンフレット作成
- ・ 当日委員学生がつける名札の作成
- ・ 発表者への記念品の選定と発注



外国語学部 4 年 稲川さんの発表の様子

5. キャリアてっぺんフォーラム当日と発表内容

当日のキャリアてっぺんフォーラムの参加者は3年生が大多数でしたが、就活に対して興味を持っている1年生、2年生の姿も見受けられました。仁愛ホールでの発表なので、やや緊張感が漂う雰囲気なのかなと思いきや、発表してくださった先輩の面白いエピソードに笑いが起こる場面もありました。4名の先輩方の発表はパワーポイントがとても見やすく、それぞれテーマが異なった内容だったので、全ての発表に、とても興味を持つことができました。

1人目の発表者である北島さんは、帝京大学より内定を獲得されていました。北島さんの素晴らしいと思った点は、ゼミナールにおいて、本学の学食に朝食メニューを作ろうという活動をしていたということです。学生にとって朝食は必要不可欠なものでありながら、実際には食べていない人が多いことに着目し、実際に朝食メニューが導入できるように研究していたそうです。このようなユニークな活動をしていたことは面接やエントリーシートを書くときにアピールポイントになると思いました。

2人目の中尾さんは、東日本旅客鉄道に内定が決まった方だったのですが、中尾さんの尊敬できるところは、就活前にたくさんのことに挑戦していたということです。特に凄いと感じたのは、「新文明の旅」に参加されていたところで、新しいことにチャレンジする時、ためらいがないのだそうです。失敗を恐れず色々なことに挑戦してみようという前向きな姿勢のおかげで、人とは違う経験ができたのではないかなと思いました。また、鉄道の写真を撮るのが好きだそうで、自分の興味のある分野に就職が決まったことはとても素晴らしいことだと思いました。

3人目の稲川さんは他の先輩と異なる点がありました。それは1年生の時の成績があまり良くなかったということです。しかしそれに負けず、たくさんの企業説明会に足を運んだり、自分が就活する上で何を軸にしていけるかをよく考えたりしていたそうです。最終的に、やる気が

ある人がいる職場であり、ベンチャー企業が良いという結論に至ったのだと話されていました。会社を選んでいくポイントとして、自分が何を大切にしたいか、何をぶれない軸にしていけるかは人それぞれであるから、妥協せずに自分が納得のいくまで就活に向き合っていくことが大切であると強く感じました。

最後の発表者である伊藤さんは、自身のアルバイトでの経験や留学に行った時のことをエンタリーシートに書いたり、面接の際に話をしたそうで、人材派遣に関する企業に内定が決まったと話されていました。伊藤さんは人と話すことが好きで、人にたくさん関わることができて役に立つことができる仕事を希望していたそうです。伊藤さんの素晴らしかった点は、他の人と比べずに、自分を知った上で自信をもって就活に取り組んでいたところです。留学の経験について企業の方にアピールする際に、単に海外で生活していたことを伝えるだけでは他の人と変わらないので、現地で生活して何を学んだのか、逆に何がうまくいかなかったのか、何が足りなかったのかをきちんと分析してから本番に臨んだそうです。またゼミの先生が、伊藤さんは先生の支えに頼らず、ほとんど自分の力で就活に取り組んでいたと話されていました。自分が得意なことや好きなこと、経験したことをフルに活用して、企業の方に興味を持ってもらえるように自信をもってアピールすることはとても重要なことだと感じました。

4名の先輩方の発表を通して、それぞれの先輩が就活で何を大切にしていたか、どう就活に向き合っていたのかを知ることができました。就活という言葉を聞くと、誰もが不安や焦りを感じると思いますが、それぞれ目標としている就職先は全く異なるので、周りとは比べて落ち込んだりせず、自分のペースで進んでいけば良いのだと改めて実感しました。将来自分がどんな職業に就きたいのか、そのためには何が必要か、今どうしたらよいのかをしっかりと考えていく必要があると思いました。

当日のキャリアてっぺんフォーラムの運営に関しては、すべてが初めての経験だったのでうまく進んでいくか心配な点もありましたが、みんなが決められた役割を一生懸命果たしたため、無事に終わることができました。本番までたくさん話し合っ、メンバー全員で協力して準備を進めていったことがとてもよかったと思いました。また、当日の状況を見て自分がどう動いたらよいのか、臨機応変に対応することが求められましたが、それぞれがよく周りを見ていたので、スムーズな発表になったと感じました。

後日行われた反省会で、今回のキャリアてっぺんフォーラムの運営に関する改善点がいくつかあったので、これらをきちんと見直して、来年の発表会を行う際に役立てていきたいです。

企画局

外国語学部 3 年 石田友香

～企画局とは～

主に委員会内で開催するイベントの企画・運営を行っています。今年度は、3 年生 4 人、2 年生 2 人、1 年生 10 人の計 16 人で担当しました。

～今年度を振り返って～

◇新しい形式からのスタート◇

今年度は多くの 1、2 年生に加入して頂いたため、企画局内で企画担当と文京祭担当に分かれての取り組みからスタートしました。初めての試みだったので、少しずつ模索しながら活動しましたが、昨年度より各自の担当に集中でき、よりスムーズに話し合いが進められた印象です。1、2 年生は分からないことが多いながらも積極的に参加してくれました。イベントを終える度、成長を感じられ、委員内での交流も深めることができました。

◇B B Q開催◇

昨年度中止になってしまった B B Q の開催を今年度は実行することができました。参加者は 14 人でしたが、学年関係なく話す時間が取れ、仲を深めることができました。企画中の良かった点は、前期に話し合う時間を多く取れたり、ふじみ野キャンパスのキャリアリーダー委員会の方との交流を取り入れられたりしたこと。来年度の改善点は、もう少し早期に計画を確定し、一人でも多くの委員学生に参加の呼びかけを行うことです。

◇ナイトカフェ企画・運営◇

昨年度までは文京祭の時に企業訪問発表会を行っていましたが、今年度は The B's Way~Night Café~で企業訪問発表会を行いました。今年度の企業訪問発表会は、キャリアリーダー委員全学生が出席し、スーツ着用という新しい条件を付け加え取り組みました。企画局は文京祭担当も含め、本番の運営・参加に務めました。当日のプレゼン発表では緊張感があり、グループワークでは和やかさがある雰囲気、無事に成功させることができました。また当日参加した一般学生には、今後の学生生活に活かせるイベントとなりました。

～最後に～

今年度は初めて行うイベントが多々あったため、指示を出す 3 年生もどうすれば 1、2 年生に分かってもらえるか、新たに考え行動することが多かった。来年度からまた新しい委員会の形ができますが、変化を恐れずたくさんの挑戦をしてほしいと思います。

渉外局

外国語学部3年 相川日香里

◇渉外局の主な活動◇

メインとなる活動は夏に毎年行われる企業訪問の計画、運営です。また、後期では渉外局の1、2年生が主体となりキャリアてっぺんフォーラムの運営を行いました。

～今年度を振り返って～

◇企業訪問に向けてのアポイントメント取り◇

本委員会では毎年夏休み中に企業訪問を行っており、そのためのアポイントメントをメールや電話を通して行いました。ビジネスメールや社会人の方との電話の経験が少ない1、2年生に経験を積んでもらうため、3年生が割り振りをし、指示をしました。今年は例年と比べて人数が多かったため、3年生は平等に仕事量を振り分けたり、全員に指示をしたりすることに大変苦労しました。また1、2年生は社会人の方と接する機会がないため非常に緊張している様子でしたが、3年生やキャリアセンターの職員の方々からアドバイスを受けながらしっかりと取り組んでくれました。

今年はなかなかスムーズにアポイントメントが取れずに苦労しましたが、最終的には5社の企業様にご協力いただき、企業訪問は無事に終了することができました。人事部の方とお話することや実際の企業の雰囲気を感じることなど、大学生活を送っているだけでは経験できないことをこの企業訪問を通じてたくさん経験することができました。

◇キャリアてっぺんフォーラム◇

後期はてっぺんフォーラム委員会と合同で、キャリアてっぺんフォーラムの準備と当日の運営を行いました。このフォーラムは4年生から実際の就職活動を通じて得たことをプレゼンテーション形式で下級生に伝えていただくことにより、在校生の就職活動に対するモチベーションを上げ、自身の就職活動の参考にすることが目的のイベントです。特に4年生の発表は就活が終わったばかりであるため、タイムリーな情報を手に入れることができ、大変勉強になりました。

準備、運営に関しては、1、2生が中心となって仕事を進めてもらいました。ごく一部の委員学生が積極的に仕事をしてくれなかったということもあり、大変苦労している様子でしたが、リーダーをはじめ、大多数が一生懸命取り組んでくれました。

◇最後に◇

今年は例年に比べて多くの1、2年生が委員会に入ってくれたため、各イベントの運営に苦労しました。最初は1、2年生も3年生も初めてのことでただで困惑しましたが、試行錯誤を繰り返しながら少しずつ改善し、みんなで協力し合いながら一つ一つのイベントをこなしてきました。来年度は3年生が引退し、現在の1、2年生が本格的に委員会を運営していく立場になります。多くの問題点や課題が出てくると思いますが、リーダーばかりに頼るのではなく、幹部を中心に全員で協力して行ってほしいと思っています。これからも本学の学生の就職活動の参考になるよう活動を続けて行って欲しいです。

顧問より

キャリアセンター(本郷) 杉本 絵美

今期でキャリアリーダー委員会の顧問も 6 期目となり、一年通して学生の皆さんをサポートさせていただきました。毎年 4 月に実施している、当委員会募集プレゼンが 1 年生の心に響き、なんと「54 名！」という、今までにない最高在籍人数で、委員会がスタートしました。

河野委員長はじめ、3 年生の皆さんは、この人数をまとめあげることは本当に大変だった事だと思いますが、沢山の事を得られた 1 年であったと思います。

特に、今期は新たな取組みとして、「文京祭での模擬店出店」や、「企業訪問の報告会ナイトカフェの企画・運営」に委員全員で挑戦しました。

文京祭では、「メロンパンアイス」を販売しました。予定より多くの数を仕入れ過ぎてしまい、余ったらどうするんだろう！？と心配しましたが、学生ならではの提案と販売の工夫、学生のシフト表作成、告知掲示作成等、計画的な準備の結果、2 日間で「452 個!!すべて完売!!」となり、大変嬉しい結果となりました。

また、ナイトカフェでは夏休みに 4 社の企業様へ訪問した内容を、企業様、学生、卒業生に 18 時からお集まりいただき、プレゼンテーションとグループワークを行いました。

特に大変だったのがプレゼンテーションの準備でした。各グループ 13 名前後の中で、企業訪問をした班、パワーポイントを作成する班、発表をする班に分かれ準備を行ったのですが、メンバー全員が集まるスケジュールがほとんどなく、また昼休みはキャリアてっぺんフォームの打ち合わせもあり、練習時間が取れない中ギリギリまで何度も最後まで諦めずに練習に励んでおりました。本番は、私たち職員もドキドキしながら発表を見ておりましたが、どのグループも 1 年生が堂々と発表し、原稿を全て暗記するなど、何度もリハーサルを実施した成果が見受けられ、学生の成長した姿を見ることができ担当職員で感動してしまいました。学生の皆さんはこの経験から、共有する難しさや、自ら行動する大切さを学び、得ることが出来たと思います。

来年度は、現 1, 2 年生が中心となり、この一年で得たことを最大限に活かして、新たなイベントを企画して挑戦して行って欲しいです。私たち職員も全力でサポートをしていきます。



後輩学生から先輩に花束のプレゼント！



3 年生を囲んで記念撮影！

委員長より

外国語学部 3 年 河野 萌香

本誌をお手に取ってくださった皆様、読んでくださった皆様、心より感謝申し上げます。
今年度も多くの方からのご協力により、本誌を発行することが出来ました。

普段から多くのサポートをしてくださるキャリアセンターをはじめとする職員の皆様、
ご多忙の中、私共の訪問を受け入れてくださった企業の皆様、
皆様のおかげで 1 年間の活動を無事に終え、素晴らしい経験が出来ました。
本当にありがとうございました。

さて、今年度は、昨年度の 3 倍以上の人数での活動になりました。新しく入ってくれた委員の
皆様、入ってくれて本当にありがとうございました。また、昨年度より継続してくれている皆
様、今年度もお疲れ様でした。
人数も多くなり、新たな取り組みも多く行った年でした。文京祭での模擬店や委員会主催のナ
イトカフェなど、このメンバーだったから出来たことだと思っています。

こんなにも多い人数をまとめることになると思っていなかったもので、不慣れな部分も多くあり
ましたが皆様と一緒に活動できたことを嬉しく思います。
私自身多くの気づきを得ることが出来て、自分に足りないところなどを知ることが出来ました。
委員の皆様にとっても、この委員会での活動や出会いが、今後の学生生活や人生を有意義にす
るものになることを願っています。

最後に、来年度以降もこのキャリアリーダー委員会の活動がより良いものになることを願って
います。
1 年間ありがとうございました。

表紙製作者より

経営学部 4 年 倉嶋ゼミ 篠田小春

タイトル：
「私の感情」

テーマ：
「喜怒哀楽」

作品説明：

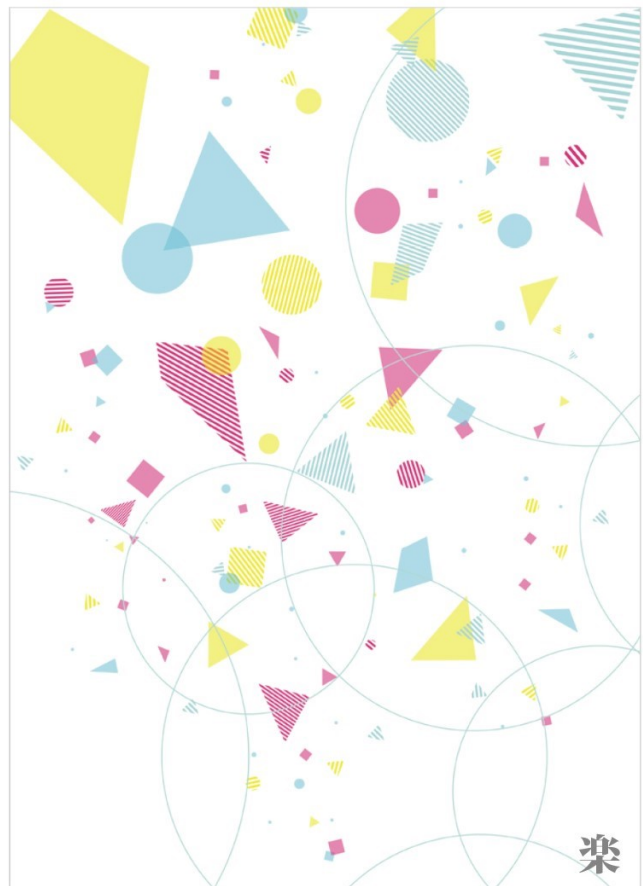
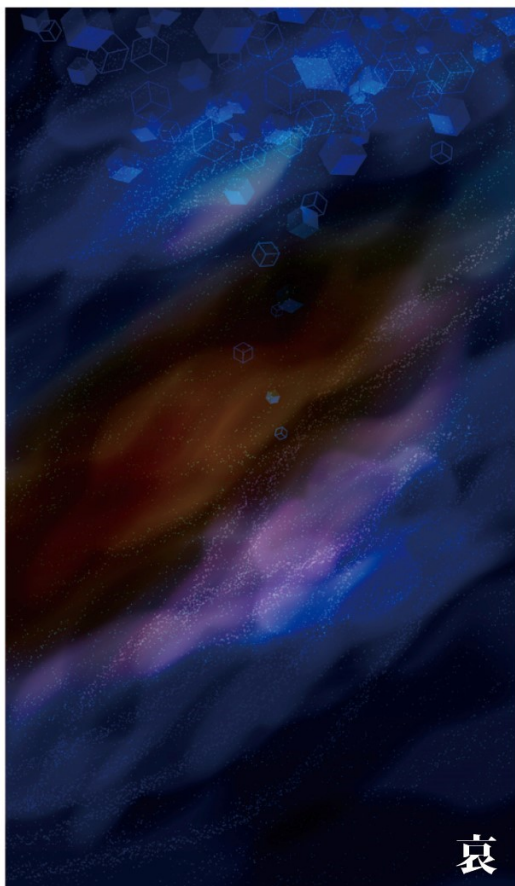
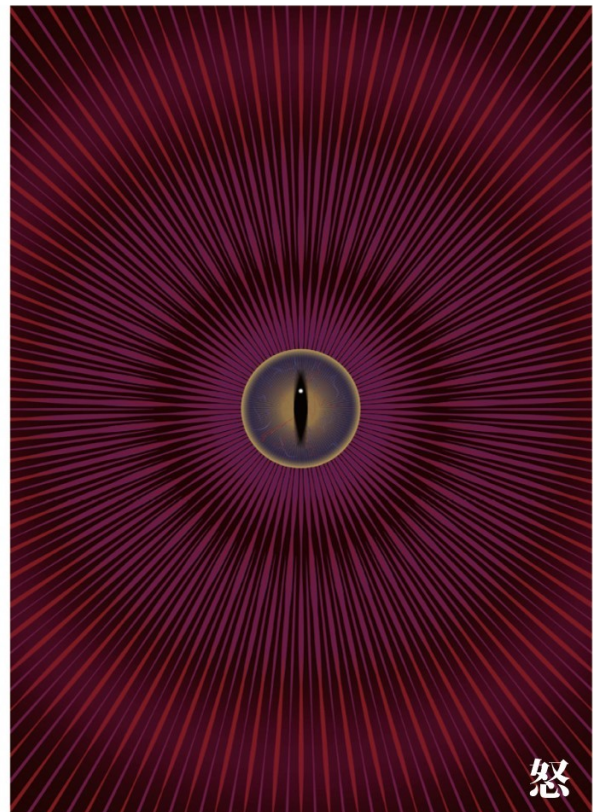
普段からその時の感情で絵を描いていました。自分の言葉で、自分を表現することが苦手なのですが、絵だったら縛りがなく自由に表現ができ、気持ちの整理もできたりします。そこで思いついたのが、今回のタイトルです。

自分の絵を改めて見返すことは今までにやったことがなかったので、制作中は少し新鮮な気持ちになり、指導教員の先生に相談をしながら作品を完成させました。

この作品は Illustrator だけで作成しています。アナログでも良かったのですが、ゼミ内で学んだ技術を使って卒業制作を作りたいという思いがあったので、Illustrator だけを使って作品を手掛けました。

喜怒哀楽を 4 枚の絵で表現した作品です。これは「私の感情」を表したものです。みなさんの中にある感情は違う形で、色も全く違うと思います。自分と他の人と感情のあり方が違って当たり前だということを、改めて知ってほしいという思いも込めて作品づくりをしました。





キャリアナビ

CAREER NAVI
MARCH 2020 VOL.19

発行：文京学院大学 キャリアリーダー委員会
責任者：河野 萌香
表紙デザイン：篠田 小春